

「ことば」の感性を磨く

伊丹市立総合教育センター
所長 太田 洋子

今年の3月の事です。一人の生徒が卒業の日を迎えました。式も終わり、正門のところでその生徒を見送り、最後に一声かけました。「これからの人生、まっとうにがんばるのよ」。

するとその生徒から思いもかけない言葉が返ってきました。「先生、まっとうってどういう意味？」
「・・・・・・・・」



広辞苑で調べると、「まっとう（真っ当）・・・まともであること」とあります。

私にとってはこれまでも「真面目に」という意味で当たり前に使っていた言葉ですが、中学生にとっては「まっとう」という言葉は、今や使われない「死語」になっているのかもしれないと気づきました。

そういえば、今年の1月に10年ぶりに広辞苑が改訂されたという新聞記事を目にしました。広辞苑を発行している岩波書店のホームページ等を調べてみると、今回の改訂では、「いらっと」「上から目線」「自撮り」「無茶振り」「がつり」「のりのり」「スマホ」「アプリ」など若い世代が使う口語を加える一方、「給水ポンプ」「スーパー特急」など時代の変化で説明が不要になった言葉は削除したとのことでした。「ことば」は時代とともに変わるものです。でも、変わってはいけない、いや伝えていかなければいけない言葉はあると思います。

ずいぶん前に、当時の柿衛文庫の今井館長に言われたことを、ふと思い出しました。「鴨居、縁側、欄間等は日本の家屋に使われる言葉ですが、今ではほとんど使われていません。でも、これらの言葉を知らないと日本の近代文学の意味はわかりませんよね。子どもたちが多くの言葉にふれることは大事です。」と。

ICT化の今の時代だからこそ、子どもたちが一日のうちの多くの時間を過ごす学校園、そして授業で、教師が意図して多くの「ことば」を伝え、子どもたちの「ことば」の感性を磨いていきたいものです。

めあての示し方

について考えてみましょう



〇〇〇〇

<学習内容>

を通して

□□□□

<到達点>

~できるようになる

めあてを示すことで、子どもたちに**何を学ぶのかを意識させる**ことができます。

教師は、**授業後の子どもたちの姿**がどうなっていればよいのかということイメージすることで、**明解なめあて**を立てられるようになります。

今回は授業のめあてについて考えてみましょう。そのめあてでは、まずいんじゃないかなというものを目にしたことはありませんか？

例えば、「~について考えてみよう」、「~を調べよう」、「~をまとめよう」など。考えたり、調べたり、まとめたりすることは**活動であって、ゴールではありません**よね。

大切なことは、〇〇（学習内容・学習活動）**を通して**、□□（目指すべき到達点）**ができるようになる**ことです。

めあての示し方のポイント

- ① 「授業における学習活動を通して、**どのような力を身につけるのか**」が具体的に理解できるような示し方により、**目的意識**を持って、**意欲的**に学習活動に参加できるようにする。
- ② 「何が」「どのように」「どのくらい」できればよいのかが、分かるような示し方することにより、**達成感**を感じ、次の学習への**意欲付け**となるようにする。
- ③ これまでの**学習内容を想起**したり、**関連づけ**たりできる示し方にする。
- ④ めあてと評価規準との整合性を図り、**目標と評価の一体化**を保つようにする。



具体例(△:改善前 ○:改善後)

【国語科】

△ 5種類の名詞を理解しよう。

○ 文の中から名詞を探し、5種類に分類して違いが理解できるようになる。

【社会科】

△ 民主主義について考えよう。

○ 過去の政治と比較することで、民主主義についての考えを深めよう。

【数学科】

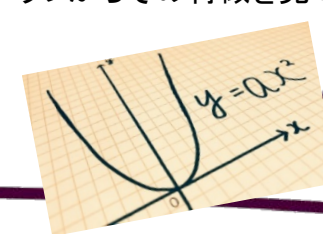
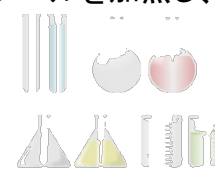
△ 円周角の定理を理解しよう。

○ 円周角の定理を予想し、証明ができるようになる。

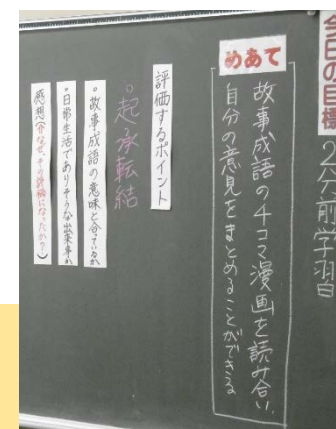
【理科】

△ エタノールが沸騰する温度を調べよう。

○ エタノールを加熱し、温度変化のグラフからその特徴を見つけよう。



授業のユニバーサルデザイン



めあてを**色チョークで囲ったり**、**掲示物**にしたりすることなど視覚化・焦点化を図ることは、「わかる」「できる」授業にするために有効な手立ての一つです。

授業力向上(カリキュラム)

支援センター

カリキュラムセンターでは、講座やセミナーを開催しています。
事前申し込み不要なので、当日カリセンにお越しください。

コンサルティング

- 経験豊富なコンサルタントが常駐
- 様々な講座を開催



ワーキングスペース

- スペースの用意
- パソコンなどの機器貸し出し
- 大判カラープリンタやDVD複製機
- 平日 21時まで
土曜日は 9時から17時まで

コンテンツ

- 図書や雑誌が充実
- 学習指導案
- DVD教材の充実
- コンテンツの貸し出し



● カリセンミニ講座

若手教員の**授業力**や**学級経営力**向上をめざす

- ◆ 保育・授業参観、家庭訪問、学級懇談
- ◆ 教材研究、発問
- ◆ 園児・児童理解、保護者対応
- ◆ 通知表
- ◆ 学級経営、行事
- ◆ 子どものほめ方、指示の出し方 など

● 臨時講師等対象セミナー

臨時講師等をサポートし、教員としての**資質向上**をめざす

- ◆ 自分をアピールする文章の書き方
- ◆ 情報教育の最新事情
- ◆ 自分をアピールする話し方 など

コンサルタントから



笑顔で教壇に立てていますか？プロの教師をめざして真剣に子どもたちに向き合う日々。学級経営、教材研究、・・・時間はいくらあっても足りない。気がつけば心も体も脳も疲れ気味。一緒に、教師としてよりよく生きるための技を磨きませんか？話すことは解決への第一歩、カリセンで待ってます。

山田 恵子 コンサルタント

「もっと授業がうまくなりたい」「もっとまとまりのある学級をつくりたい」など、多くの若い先生方が、日々の授業づくりと学級経営において、どうしたらよいか悩み迷いながら取り組んでいます。カリキュラムセンターは、そのような先生を応援するところです。どうか一人で悩まずにお気軽に相談にお越しください。一緒に考えましょう。



後藤 猛虎 コンサルタント

Q&Aコーナー

Q：休み時間が終わり授業が始まります。教科書やノートをなかなか出さない子が数人いて、待っている間に教室が騒がしくなり困っています。（小学校低学年の担任）

A：待っていてはいけません。騒がしくなる前に授業を始めましょう。早く用意ができた子は、退屈で仕方がありません。そのうちおしゃべりが始まるのです。授業が始まっている状況に気づかせる工夫が大事です。最初の1分間で授業に引き込む工夫を考えましょう。

発行 伊丹市立総合教育センター
月～金 9:00～21:00 土 9:00～17:00

所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番 TEL 072-780-2480 FAX 072-780-2482

休館日 日曜・祝日、年末・年始 総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>